

吉原地区 生涯学習推進会

人口：12,251人 世帯数：5,749世帯（平成31年1月1日現在）



スローガン

吉原地区住民の連帯感を確立しよう
歴史を訪ねてふるさとよしわらに共通の
活力ある町づくりをしよう
意識を育てよう
明るい家庭づくりをすすめよう
豊かな地域づくりに一人一役運動をすすめよう



会長 藤田 嗣

沿革

吉原地区は富士市の中央に位置し、吉原商店街を有する商業地域です。この地域には、市役所をはじめとした中央病院、市立体育館、ラ・ホール富士、教育プラザ、FMラジオ局などの公共施設が多数あり、平成17年には旧ヤオハン跡のラクロス内に富士市民活動センター「コミュニティf」が開設され、市民の集う場所の多い地域です。

生涯学習推進会は町内数の41支部で構成され、昭和57年に開館した活動拠点の吉原まちづくりセンターを中心に活発な活動を推進しています。

吉原のみどころ

【吉原生涯学習の特色】

吉原地区生涯学習推進会の特色は支部の数が41支部に及ぶということです。その支部長の9割くらいが町内会長を兼務しています。その支部長の中から会長を選出します。各部の部員は町内会長から推薦される41名以上で構成されます。部員が多いので、事業毎に担当を分担するなどして部員の負担を軽減する分、部長の負担も大きくなっている傾向もあります。

【吉原の見どころ】

吉原地区の魅力は何と云っても、200年近くの歴史を誇る吉原祇園祭です。吉原商店街に200以上の露店が並び、21基の山車や屋台が行き来する東海一の祇園祭は6月の第2土日にのべ20万以上の人出を誇ります。41町内会のうち24町内が関わっています。



▲吉原祇園祭

他にも10月には、国久保の熊野神社の例大祭もあり、祭を中心に、生活をしている人が多い地区です。

生涯学習の活動

【まちづくり協議会とのかかわり】

まちづくり協議会が主催する主な行事は「さくら祭り」と「防犯ボランティア活動」です。さくら祭りには、生涯学習推進会も出店して、祭りの賑わいに一役買っています。防犯ボランティア活動は、青少年育成部や生活安全部が大きく関わり、連携をとっています。平成29年からは、生涯学習推進会発行の新聞の両A面でまちづくり協議会新聞も発行し、活動の情報を発信をしています。

市制50周年には折り紙のバラでロゴマークを作りました。



生涯学習総務部

成人教育部・青少年育成部・生活安全部・体育保健部の各部長と会計及び数人の副会長で構成された総務部は、毎月1回総務会を開催し、各部の事業の経過報告と進捗状況を確認しあって、情報の共有を図っています。

また、総務部では平成16年からは年1回の健康さわやかウォーキングを開催し、多くの参加者の好評を博しています。

平成17年からは富士まつりの総踊りに参加しています。



▲さわやかウォーキング

青少年育成部

子どもたちの健全な育成のために、デジタルな遊びの多い子どもたちに、平成29年からアナログな遊びのけん玉体験会を開催し、集中力の向上を図っています。検定も実施するので、向上心の醸成にも貢献できています。子ども会育成会の事業にも審判や見守りとしてもサポートしています。県内一斉補導も各種団体と協調し、夏と冬に開催し、かけこみ110番の家の実態調査などに取り組み、新たなウォークラリーなどの開催を企画しています。



▲けん玉体験会

成人教育部

毎年10月に文化祭を企画・運営しています。この文化祭は平成28年からは、吉原一中生にもボランティアスタッフとして、携わっていただいています。



▲市制50周年を機に、「富士市民歌」「吉原市民歌」「躍進吉原の歌」を斉唱しています。

また、市内の公共施設見学会の開催や市議会傍聴の推進もしています。

平成28年からは、市内の歴史探訪を企画し、まち歩きにより、郷土愛の醸成に努めています。

体育保健部

地区の住民の健康増進に向けて、体育祭の企画運営がメインの事業ですが、その他にも、青年・壮年向けのソフトボール大会、子ども・高齢者向けの輪投げ大会、家族向けのファミリーバドミントン大会、高齢者向けのグラウンドゴルフ大会、壮年向けのソフトバレーボール大会を運営しています。平成30年の体育祭は50回目の記念大会として、50に因んだ借り物競走で盛り上がりました。



▲参加町内が紅白に分かれての綱引きは、毎年接戦で応援している人も力が入ります。

また、スポーツ推進委員の協力を得て、年10回のニュースポーツ教室を開催しています。

生活安全部

さくら祭りや体育祭や文化祭などの事業の駐車場の誘導や整理を実施し、事業のサポートをしています。

また、安協の交通安全啓発活動にも協力し、まちづくり協議会の事業のサポートもしています。生活の安全の為の、防犯・防災講座や、振り込め詐欺防止のための啓発講座などを開催しています。

児童の生活安全・交通安全への関心を高めるために標語を書いた看板製作の助成もしています。



▲防犯ボランティアの集い